

記者会見質疑応答

日時 令和7年8月27日（水）午前11時から

場所 第2応接室

出席者 ○市 側：市長、町田副市長、総合政策部長、総務部長、財政部長、
健康こども部長

○記者側：11社13名参加

発表内容 ・第15回市議会定例会の招集告示について

・令和7年度新型コロナウイルス感染症のワクチン定期接種に係る自己負担額
について

<案件について>

○苫小牧民報社

議案の16のところ、苫小牧市病院事業の関係で、一般病床をこの資料では10床減らすとあるのですが、この理由はわかりますか。

■病院事務部長

今回条例上10床落とすということになりますけども、この10床につきましては、以前から休床している病床で、これに合わせて落とすというわけではないです。

国の事業で1床につき410万円程度補助金が出るという事業があり、ただ報道でもされておりますけれども、病院によってその削減する病床がいろいろあったのですが、国で自治体病院を対象にする代わりというわけではないのですが、上限を10床ということになっておりますので、その10床に合わせて今回提案をするということでございます。

まだ正式に北海道から来ておりませんが、内示の段階では10床、410万円かけて約4100万円について給付されるという見込みだというように伺っているところでございます。

○苫小牧民報社

10床減らすことで交付金がもらえるというイメージですか。

■病院事務部長

そうですね。そういった事業でございます。

○苫小牧民報社

医師が減っただとか、そういうところが理由ではないということですか。

■病院事務部長

そうですね、そういった理由ではありません。

ただ、コロナ後なかなか患者さんが戻らないということもございまして、以前から全体で26床休床してございます。その内の10床分につきまして、条例上落とすということで考えております。

<その他 案件以外について>

○苫小牧民報社

日本ハムファイターズ2軍施設誘致の関係でお伺いしたいのですが、先ほど白老町の町長さんも来て協力するというような姿勢を示したばかりだと思うのですが、苫小牧市さんとして先月に表明してからこれまでの間で球団と交渉した経緯とかはありますか。

■市長

昨年の報道以降、北海道日本ハムファイターズの関係者と複数にわたる情報交換も実施をしているところでございます。8月7日の報道以降球団関係者との意見交換を実施いたしまして、球団が求める内容、新たな拠点の考え方についても伺ったところでございます。詳細についてはここではお話はできないのですが、球団の報道では新たな拠点のイメージとして、スタジアムを中心に選手寮や室内練習場の設置のほか、周辺には商業施設あるいは住宅宿泊施設、こういったものを想定しているということですから、アクセス面とあわせまして一定程度の用地が確保できる場所について提案をして情報交換を実施したところでございます。

○苫小牧民報社

この1カ月間で交渉したということでいいですか。

■市長

そうですね。

○苫小牧民報社

Jリーグの秋冬に合わせてキャンプの誘致とかも今一緒にやっているとは思いますが、こちらと一緒にやっていくような感じになるのですか。

■市長

一緒にというよりも、日本ハムファイターズ2軍施設誘致はそれはそれ、Jリーグの合宿

誘致はまた別でやるということになろうかと思います。ただ、双方とも想定しているスケジュール感是一緒のところがありますから、時期は同じくなるかもしれませんが、あくまで別々に我々としては誘致をしていくということになろうかと思います。

○朝日新聞社

日本ハムファイターズ 2 軍施設誘致の件で既にお聞きかと思いますが、先日苫小牧商工会議所を中心に、9 月 25 日に期成会を作るという意向が示されました。

期成会としては行政団体は今のところ加えないというような方針らしいのですけれども、期成会の趣旨とすれば胆振全体で苫小牧に施設を誘致したいというようなコンセプトだそうです。ここでネックなのは西胆振の 3 市についてはどの程度の熱意があるのか、あるいは金澤市長の方から室蘭の青山市長をはじめ 3 市の市長さんにどのような形でお話を持っていつているのか、あるいは持って行こうとなさっているのかをお聞かせください。

■市長

商工会議所の取り組みについては、非常に感謝をしたいと思っております。

やはり市民の皆さんの機運の高まりということは、誘致にあたっては一番重要なところの一つだと思いますので、ああいった動きをとっていただいていることは大変ありがたいと、我々の動きを大きく後押ししてくれるものと思っております。

他の道内の自治体でファイターズと今接触をしているところと我々の大きな違いは、単独市ではなく広域でそういった誘致に取り組めるというところが大きなアピールポイントだと思いますので、私も商工会議所さんが思っているように、胆振あるいは場合によっては日高まで、できるだけ広げて誘致に取り組んでいけたらという思いはあります。

室蘭市長との話はどうかというようなお話もありましたけれども、その辺はこれからやっていきたいと思いますが、ここに至るまでも公式な場ではなくても、このファイターズ 2 軍誘致について自治体の首長さんから、苫小牧で頑張ってもらいたいということは言われているところがございますので、そういった経済界の動きと合わせて私の方も各首長さんとはまた協議していきたいと思っております。

○朝日新聞社

例えば具体的にいつまでにみたい。いつまでに内々でお三方とは合意したいみたいなそういうスケジュールみたいなのはあるのでしょうか。

■市長

具体的なスケジュールは今持っておりませんが、とにかく急いでできるだけ早く形を作っていきたいと思っておりますので、そう時間を置かずに動いていきたいと思っております。

○室蘭民報社

ファイターズ 2 軍誘致の関係で、先ほど白老町長と議長がサポートしますということで表敬訪問されたと思うのですけれども、訪問協議を受けての市長の受け止めというところをまずお聞かせいただければと思います。

■市長

本日白老町長と町議会議長の訪問に先立って、白老町の経済界の方を中心に、その中には議員さんも交えておりましたが、44 名来られて大変熱烈な誘致に対する要望をいただいております。

今日の大塩町長の訪問は、やはり町として正式に誘致をお願いしたい、あるいは強力的にバックアップしたいというようなものだったと受け止めておりますので、先ほど申し上げたとおりこういった動きは大変ありがたいものだと思っておりますし、白老さんをはじめまずは東胆振の首長さんたちともさらに連携を深めていきたいと、またその動きも胆振あるいはさらに広げていけるようなことができれば幸いと思っております。

○室蘭民報社

先ほどの他社様の質問でも胆振全体での誘致の活動というところだったのですけれども、西胆振 3 市、室蘭・登別・伊達というところで、苫小牧とは若干距離があってメリットをなかなか享受できるのかどうかというところが私自身はなかなかイメージが湧かないところもあるのですが、苫小牧に 2 軍の施設が来ることによって西胆振の 3 市にどのようなメリットがあるかというところを、どのように市長としてアピールしていきたいかというところを教えていただければと思います。

■市長

いろいろ考え方はあろうかと思いますが私の考えとしては、やはりファイターズ 2 軍が苫小牧に来ることで、人の往来というものがこの苫小牧にさらに増えるであろうと思われます。それは何も札幌圏あるいは新千歳空港等からだけではなくて、苫小牧から見た西側エリアから、いわゆる西胆振の方からも人の往来というものが来るのではないのかという期待が持てると思います。そういったことによって、今非常に危惧されております JR の問題だとかあるいは観光振興という点での、更なる地域としての盛り上がりというところに大きく寄与できるものになると思います。

今登別も外国人の観光客を含めて年間 300 人から来ていただいていると伺っておりますし、エスコンフィールドも年間 227 万人が来場者として来ていらっしゃるということも聞いております。その間にある例えば苫小牧、あるいはウポボイのある白老、こういったところに、様々な野球関連あるいは観光関連を結びつけて、人の往来、関係人口交流人口をもっと増やしていくというようなことも、これは地域として享受していける魅力ではないのか

なと思っておりますので、ファイターズ 2 軍誘致というのはそういった広域でのメリットを見出せるというような可能性があると思っております。

○朝日新聞社

先ほど日高方面にもウイングを広げたいというようなお話があったのですが、先ほど市長を表敬なさった大塩町長の言葉を借りれば、白老もそうですけど日高地方も野球どころとして有名な地域エリアではあるのですが、この日高へのウイングを伸ばす時期とかというのは、どういうスケジュール感でいらっしゃるのでしょうか。

■市長

今のところそこら辺は具体のスケジュールは持っておりません。ただ、かつて nittan という形で胆振日高のくくりで、岩倉市政時代ですけれども、観光等という視点でいろいろ取り組んでいることがございました。最近そういった視点でいきますと、胆振で何かを取り組むとか、あるいは胆振日高で一緒になって取り組むというものがなかなか具体のものがなかったものですから、今回のこの日ハム 2 軍誘致を機に一つそういう共通テーマといいますか、一緒に取り組めるテーマとして共有できたらなという思いでおりますので、その辺の日高に対しての動きはこれからです。

○朝日新聞社

例えば地元の道議を介してではなく、金澤市長自ら日高地方に足を運んで首長さんたちに直接思いを伝えて、市長自らがリーダーシップを取っていくという理解でいいでしょうか。

■市長

苫小牧に誘致を考えていますので、動いていくとするとそういう形になるかと思います。まずはお話をするところからかなと思います。まずは東胆振、それから胆振全体にやっていくかどうか。その次になっていくのかなと思います。

○北海道新聞社

駅前再整備の件でお伺いしたいと思います。先日清水建設 JV を優先交渉権者に選んだかと思われるのですが、この再整備、どのような計画を今持っているか教えていただけたらと思います。

■市長

駅前再整備につきましては、清水建設株式会社を代表企業といたしますリ・デザイン苫小牧グループを優先交渉権者として選定をして今後パートナー協定締結に向けて協議を行っ

ているところであります。

協定締結後には、パートナー事業者からの提案をベースといたしまして、基本計画の策定に向けた協議検討を進めていくということになりまして、現時点で確定したものはありませんけれども、再整備エリアを公共機能の結節点となる駅前ゾーン、顔となる多世代交流学びゾーン、まちなか居住を推進する生活拠点ゾーンということで、駅前の求心力を向上させる3つのゾーンに設定した提案ということになっております。

○北海道新聞社

今回の再整備でエスコンさんも入っていたり、先日市長も日ハム2軍誘致にチャレンジするとおっしゃっていたこともあったので、今回の駅前再整備、日ハムの2軍誘致との関係性がもしあれば教えていただけたらと思います。

■町田副市長

今回提案事業者の中にエスコンさんが入っていますけれども、今回の提案の中でファイトーズ2軍誘致という言葉につきましては一切触れておりませんので、そこは全く関係なく駅前は駅前でやっていくというような状況でございます。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

7月30日の津波警報に関する対応についての質問なのですが、当日避難所開設に関わった地域の方から、配置された職員の方が避難所の展開に慣れていない状況があったという声ですとか、特殊な事情がある避難者の方がいて、市民の方が避難所にお問い合わせしたら、学校の先生が出られて話が通じずに、避難所にいる職員さんに代わってくださいと言うと、職員室は部外者が立ち入りできないので職員さんを入れることができませんということで、うまくコミュニケーションが取れなかったという事例もあったと聞いています。

質問の趣旨というのは、今後避難所対応をより良いものにしていくために、庁内の職員さんからこういう課題があった、こういうことに戸惑ったというような声の抽出ですとか、また学校さんがすごく協力的だったという住民の方もいらっしゃったのですけれども、改めてそうした連携体制をしっかりと波及していくための課題抽出についてどのように進めるかということをお伺いできればと思います。

■市長

今回の避難指示等についての課題抽出の検証は9月末までに行っていきたいなと思っております。これは市民・町内会・協定に基づく一時避難所施設の管理者、あるいは市職員などを対象にアンケート調査を行いながら実態把握と課題の抽出を行っていきたいと思えます。今記者さんがおっしゃられたような具体の事例もどういうものだったかというのは、内部でも改めて状況確認から検証したいというふうに思っておりますが、やはりこれも知見

の積み重ねが今後に生かされると思いますので、私も最終的に集約した 9 カ所の避難所を全て自分で回らせていただきましたけども、やはり時間あるいは状況によって、職員さんの数が手薄になっているところがあったり、あるいは避難される方の状況数によってしっかりとした体制が出来上がってなかったりということも現実にも見てきましたので、事前にそういったことがしっかりできるようにということと、やはり臨機応変にその状況に応じた人員の増強だとか、物資の搬入だとかそういったことをやっていけるようにすることも大事なことだと感じておりますので、今ご指摘いただいた点も含めて 9 月末までにまずは内部での検証等していきたいと思っております。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

その検証結果というのは今後避難所マニュアル等に反映させていくと捉えてよろしいですか。

■市長

中身によりますけれども、マニュアルの改定が必要なもの、あるいは運用の中でやれるもの、それをしっかりと後に生かせるようにしていきたいと思っております。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

いわゆる災害弱者と呼ばれる方たちの当日の状況についても、取材の中でいろいろ本当は逃げたかったけれども、困難があったというお話等も聞こえています。

それで市としてそうしたその声を、高齢者に限らずいろいろな困難を抱えている方がいらっしゃると思うので、市としてそうした方たちの声を、どう抽出していこうとしているのか今後はどう反映させていこうとしているのかも併せてお伺いしたいと思います。

■市長

先ほどアンケートという話をしましたがけれども、市民アンケートは市のホームページですとか、公共施設に設置をして意見を募っていきますけれども、社協さんとの連携でふれあいサロンなんかでも配布をして、高齢者の皆さんの意見は伺っていく予定です。

そういう公の場に出てこられる方の意見はそうやってアンケートで取れますけれども、そうじゃない方に対してどうできるかというところまで、内部で検討したいと思っております。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

時期が遅いのでどうしようもないかもしれませんが、高齢者世帯調査が 9 月から始まるので、民生委員の方から高齢者世帯調査の機会を利用して、そこら辺から聞いてみたらどうかという声もあったのですが、対応としては難しいでしょうか。

■市長

それも含めて内部で検討してみたいと思います。

○北海道建設新聞社

先ほど白老町の大塩町長が誘致に協力するという旨の訪問をされたかと思うのですけれども、その中で大塩町長が東胆振あるいは胆振広域で連携した姿というのを球団側にもっと PR すべきだと、アピールしていきたいとお話をされていました。

実際に苫小牧市に誘致を目指すとは思っているのですけれども、球団側にどう東胆振でしたり胆振管内一体として誘致を望んでいるよ、という姿をアピールしていきたいかというところの市長のお考えをお聞かせいただきたいなと思います。

■市長

自治体の動きと期成会をこれから作っていくという動きは、今のところ別になっておりますが、ファイターズ 2 軍誘致ということについては同じ思いを共有していますので、そういう中でこういった体制ができていくかということもあります。

それがいつできるかというのがありますので、その時期を見計らってファイターズにはアピールしていきたいと思いますが、協議を行うタイミングにおいては、このような動きになっているとかということは逐一伝えるチャンスはあろうかと思っておりますので、私も SNS のアップもそうですが、様々な形でファイターズにはアピールしていきたいと思っております。

○読売新聞社

日ハムの関係なのですけれども、期成会で動いてくれるのは大きく後押ししてくれてありがたいということですが、自治体は入らないということですが、自治体として期成会には入らない方が何か動きやすいとか、やりやすいみたいなそういうものがあるのでしょうか。

■市長

特にそういったことは考えずに商工会議所の方で動いていただいておりますので、最終的には一緒にファイターズに何かを申し入れをしたり、そういう可能性もあろうかと思いますが、今我々は我々で表明をして、各自治体の首長との連携等を図っていくと、一方で期成会の動きというものもあるということで今進めているというところであります。

○読売新聞社

自治体の方も賛同してくれるようなところは期成会じゃないですけど連携の枠組みみたいなものができるようなイメージもあるのでしょうか。

■市長

例えば西胆振の展開も先行して商工会議所の方で動いてそういった波ができてきたら、おのずと行政側もそれに連動してくるという可能性があると思いますし、その辺はまだ今見えてないところではありますが、これからその辺を注視しながら動いていきたいと思っています。

○読売新聞社

IR の関係なのですけれども、苫小牧市や金澤市長についてはずっと IR は積極的にやりますということを表明していらっしゃいますけれども、道の方で各自治体に調査があって、それに対しても積極的なお答えをされましたけれども、改めてこのタイミングで何かを発信することはありますか。

■町田副市長

北海道から、道内自治体全ての自治体に対して IR アンケート調査がございました。締め切りが 28 日までになっています。

それで苫小牧市としては、2019 年に知事が認定申請を見送った後も誘致を進める考え方に全く変わりはありませんので、今回の調査に対しましても、市内に IR を整備することに関心があると回答を出す予定でございます。

○読売新聞社

その場合は回答では求められていないのでしょうかけれども、場所的には前回と同じ植苗地区というイメージなのですかね。

■市長

そうですね。

○読売新聞社

釧路市さんの方では苫小牧市と連携して一緒に頑張っていきたいみたいなニュアンスのようすけれども、そこら辺について何かありますか。

■市長

釧路市との連携もこれを図っていくことは大いに意義があると思っています。私も公約で、IR へのチャレンジを表明しておりますけれども、これは IR が単なる観光拠点を作ることだけではなくて、これは全道各地へのいわゆる送客です。この IR を起点に全道に空港を利用したり JR を利用したりしながら、お客さんが道内の他の町にも行くというようなことも想定できますし、食や文化の高付加価値化をすることなんかもできますので、これ

で道内の食材をたくさんインバウンドの方に味わっていただき購入していただいたりと、そういういろんな波及効果が全道に行くことに意義があると思っていますので、釧路市さんはじめ連携できる自治体があればそれはどんどんやっていきたいと思っています。

○読売新聞社

釧路市さんの他に何か具体的にはあるのでしょうか。

■町田副市長

現時点においてこの IR の調査を行っていますけど、どこの自治体に関心がある関心がないというところを回答したかというのを現時点では掴んでいないところですので、改めて北海道の方で、全道で IR について自治体の意向を確認したいということだと思いますので、苫小牧市としてはまずは関心があるということを大いにアピールしたいですし、仮に苫小牧市と連携してくれるという自治体があれば、そことも連携を図ってまいりたいと考えています。

○読売新聞社

今回釧路市さんの方とこの件でやり取りしたというようなことはあるのでしょうか。

■町田副市長

釧路市さんとは前回の IR 誘致を進める際に、覚書を交わして連携していくということを、行政もそうですし会議所も行ってまいりました。現在もその形は進行しておりまして、今回の道の調査に関しましても、私が直接釧路市さんとお話をしながら進めているところでございます。

○読売新聞社

函館市に関心があると言われてますけれども、函館市はかなり知名度もあって、空港も近いということですが、その辺りライバルとしてどのように見ていらっしゃいますか。

■市長

函館市さんも新幹線の問題なんかもあったりして、いろいろなお考えの中で IR の誘致を言っているとしたら、そういう意味があるのかなと思いますけれども、最終的に国からまだ具体は示されておられませんけれども、国のスケジュール感であると 2 枠どのように決まってくかというところになってくるかというところだと思います。用地の確保からいろいろとやっぱり IR 誘致に関わっての課題はあると思いますので、我々含めて、そういった国のスケジュール感とどう合うかというところかなと思っています。

○朝日新聞社

2 軍施設誘致の関係で先ほど町田副市長が、駅前再開発事業と 2 軍施設誘致の成否というのは、あんまり影響ないというようなご回答だったと思うのですが、7 月 28 日の市長記者会見のときには例えば駅前地区に 2 軍施設が誘致するというのも一つ興味深い提案だというご回答だったと思うのですけれども、2 軍施設の誘致が成功すれば苦小牧の顔の構図としては変わってくると思うのですけれども、そこら辺は閣内不一致なのか、あるいはその 7 月末の段階で用地候補から駅前が外れたのか。どちらなのでしょう。

■町田副市長

駅前再開発につきましてはこれまでも資料でご提示をさせていただいていますが、あくまでも駅前の L 字の形の部分が、今回我々が進めようとする駅前再整備の箇所なので、あそこに球場ができるということは全くありません。

ただ仮に近くにもしできるとなれば相乗効果はあると思います。ですから、市の考え方としてはまずは駅前再整備は駅前再整備で進めていくと、事業者の中にエスコンさんが入っていますけれども、2 軍誘致をするために入っているわけでは全くないので、駅前再整備のためにエスコンさんも力を貸してくれるということです。将来的な連動はあるかもしれませんが、現時点で駅前再整備と日ハムの 2 軍誘致はリンクしていないという状況でございます。

○朝日新聞社

もし誘致に成功すれば、あその性格性もかなり変わってくるような気がするのですが、でもそうではないのですか。

■町田副市長

駅前再整備については既に動き出していますので、これから計画を立てます。ただ日ハム 2 軍誘致については、本当に苦小牧に決まるかというところもまだ不明な状況ですので、まずは駅前再整備というところそっちに集中してやっていきたいと、それにプラスして日ハム 2 軍誘致も同時並行で行うという考え方です。

○朝日新聞社

例えば 2 軍施設誘致に成功した場合と、残念ながらという場合と事業内容としては 2 パターンになる可能性はないのですか。2 パターンを想定して事業を進めるという。

2 軍施設がもし苦小牧に誘致できれば、駅前地区でなくてもかなりいろいろな効果が、少なからず駅前地区にも波及してくると思うのですけど、交通体系とかなんかもそうだと思うのですけど、2 軍施設の誘致をにらんだ事業戦略というのは今のところ必要ないというお考えですか。

■町田副市長

駅前再整備についてはかなり前から取り組んできていますので、方向性というのはこの前と同様に変わってないというところがありますので、まずは駅前再整備に最注力したいという考え方です。

ただ、おっしゃるように、日ハム2軍誘致というところが今出てきましたので、そこが将来的に関わりが全くないかと言われればないとは言いきれないと思いますので、そこは今後の展開で計画を作る中でどうなるかというのが今の時点でははっきりとお示しできないという状況でございます。

○朝日新聞社

その辺の考えは企業体の方には伝えていらっしゃるのですか。

苫小牧市が2軍施設の誘致に名乗りを上げていて、場所的にかなり影響が及ぶこともあるので、2パターンの両方を考えないと駄目だねというような下交渉というのは今なさっていないのでしょうか。

■町田副市長

基本的にこの事業者選定の段階で、あくまでも駅前再整備という仕様書を作って募集をしていますので、その時点で日ハムの2軍施設誘致に関わるという話は一切ありませんので、まずは駅前の再整備を優先ということです。

ただ先ほどから何回も言っていますが、この2軍施設誘致が仮に成功した場合に、駅前とどう連動させるかというのはその後の話だと思っています。